WOOD COLLECTION 2023「JAPAN ReWOOD」に出展して

北海道庁水産林務部林務局林業木材課　山本　拓矢

■WOOD COLLECTION 2023「JAPAN ReWOOD」

2023年8月18日～20日の3日間，東京ビッグサイトで『WOOD COLLECTION 2023「JAPAN ReWOOD」』（以下，Japan ReWOOD 2023）が開催されました（主催：WOODコレクション実行委員会）。

Japan ReWOOD 2023は，「触れて楽しむ！木のワンダーランド」をテーマとしていて，ビジネス来場者向け展示販売・商談会に加え，木の種類や形によって異なる響きを実際に演奏しながら感じる楽器展示等の五感で触れる体験展示が用意されるなど，一般消費者向け企画も充実したイベントでした。

北海道からは，道産木材を活用した製品を扱っている８者が出展し，北海道庁は道産木材製品販路拡大協議会（以下，協議会）と共に出展者への支援などを行いました。このイベントを振り返り，出展の概要や成果を紹介します。

■出展者と出展内容

はじめに，出展者と各出展者の出展内容を紹介します。このイベントは，従来から開催されているWOOD COLLECTION（以下，モクコレ）とは異なり，都道府県ごとに出展ブースが並ぶのではなく，取り扱う製品の「カテゴリ」ごとにブースを構える形式であったため，それに合わせ，カテゴリごとに出展者を示します（**表1**，**写真1～8**（Japan ReWOOD 2023ホームページ出展者情報から））。

■出展者への支援

このイベントに出展するにあたり，各出展者に対して北海道庁および協議会が行った支援内容を紹介します。

今回のイベントでは，「こうしたイベントに参加すること自体が初めて」という出展者もいるため，各出展者が不安なく当日を迎えられるようコミュニケーションを取ることを意識して準備を進めました。

また，食や観光といった面で「北海道」のネームバリューは大きく，過去の同様のイベント結果から見ても来場者への訴求効果が高かったことから，各出展者が「北海道」の木材を活用していることを積極的に打ち出すとともに，北海道として一体感のあるブース装飾となるよう工夫もしました。

まず，「コミュニケーション」に関してですが，出展者が決定した直後に，各出展者を集めて「Web顔合わせ」を実施しました。顔が分からない中でのコミュニケーションでは相談しにくいと感じる方もいるため，顔の見える関係を作り，安心してご相談頂けるよう，こうしたイベントの際は必ず行うようにしています。Web顔合わせの中で，不安に思っていることや分からないこと，ブース装飾のアイデアなどを出展者から出していただき，出展準備を進めました。

表1　Japan ReWOOD 2023への出展者

カテゴリ	出展者	出展内容
生活雑貨	アトリエジュジュ	道産材を器に活用した手芸用ピンクッション
	釧路森林資源活用円卓会議	釧路地域の森林資源を活用した玩具，お土産，木刀など
	mokunowa（モクノワ）	道南スギを用いた木育グッズやキット，文房具など
	レーザーウェーブ	レーザー加工の技術を活かしたコースターやボールペンなど
アウトドア	北央銘木×HOKUON	アウトドア製品に組み合わせる木材製品や，コースター，カッティングボードなど
家具	ハコイス	道産タモで作られた幼児用の机兼イスや製造工程で出る端材を活用したカッティングボード
キッチン用品	工房ki-kiru（キーキル）	自らが伐採した広葉樹なども活用したプレート，コースターやカッティングボードなど
	有限会社高橋工芸	道産材を活用したカップ，皿，プレートなど

写真1　アトリエジュジュ

写真2　釧路森林資源活用円卓会議

写真3　mokunowa（モクノワ）

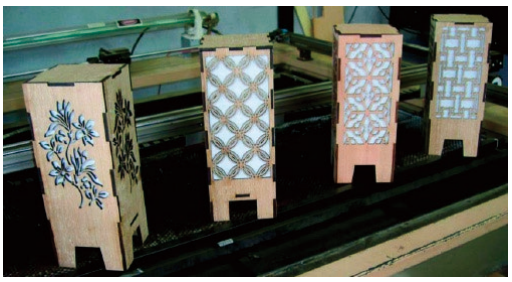

写真4　レーザーウェーブ

写真5　北央銘木×HOKUON

写真6　ハコイス

写真7　工房ki-kiru（キーキル）

写真8　有限会社高橋工芸

次に「一体感のあるブース装飾」に関してですが，北海道の木材製品を扱うブースであることを来場者に一目で感じてもらえるよう，北海道庁が協議会等と共に進めている「HOKKAIDO WOOD」を活用することとしました。特にこのイベントでは，先述のとおりカテゴリごとでのブース出展になるため，同じ北海道の出展者でも，カテゴリが異なれば会場内で別々の場所にブースを構えることになります。そのため，各ブースの装飾が統一感を持ったものとなるよう出展者に働きかけました。

具体的には，北海道庁や協議会からのHOKKAIDO WOODを象徴する写真素材やロゴマークをあしらった布やターポリン製の幕等の装飾備品を各ブースにバランス良く配分し，それらを掲示してもらうことで，

会場内の別々の場所にブースが設置されていても「北海道」であることを認識してもらえる工夫をしました（**写真9～10**）。

写真9　「生活雑貨」カテゴリでの展示例

写真10　「キッチン」カテゴリでの展示例

また，ブース装飾のイメージが出展者とずれてしまわないよう，3Dパースを作成し，それを配布しながらイメージの共有を図りました。

■HOKKAIDO WOODについて

ここで簡単にHOKKAIDO WOODのことを紹介します。HOKKAIDO WOODは，協議会が道産木材製品のブランディングにより北海道産製品の認知度向上をはかり，一層の販路拡大につなげるために令和元年度に立ち上げた北海道生まれの木材製品を表すブランドです。北海道庁も協議会に参画しており，HOKKAIDO WOODに関する様々な活動を一緒に進めています。

また，協議会ではロゴマークとキャッチフレーズも作成し，PRに活用しています。ロゴマークは，北海道の「北」という漢字を木の「幹」と「枝」に見立てたマークとなっており，木を縦に割ることで「製材」も表現したマークとなっています。ロゴカラーは北海道が持つ「雪国」というイメージを連想させるため，黒・灰を基本色としました（**図1**）。

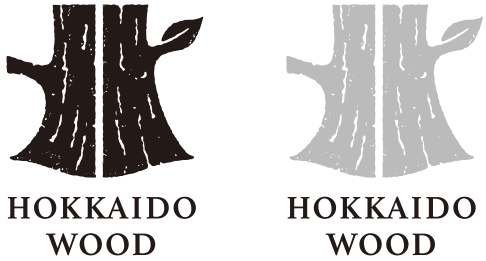

図1　HOKKAIDO WOOD ロゴマーク例

ロゴマークの利用者については道産木材製品を取扱う企業や団体だけではなく，道産木材に興味がある・道産木材を使いたい，といった道産木材製品を応援する想いのある個人や企業等にも幅広く利用して頂けるよう，届出のみで無償で使用できることとし，HOKKAIDO WOOD専用の公式ホームページで広く公開しています（https://hokkaidowood.com/）。

ロゴマーク等の利用にあたってはブランドイメージが損なわれることのないよう「グラフィックマニュアル」による一定のルールを守った上での利用をお願いしています。そして，ロゴマークの普及に向け，使用実績として写真などを提供していただき，その情報をホームページ，メールマガジン及びSNSで公開・情報提供することで，HOKKAIDO WOODブランドの普及に努めています。

なお，ロゴマークの利用登録を行った方を「HOKKAIDO WOODメンバー」としており，本イベントのような木材に関するイベント情報だけでなく，道産木材に関わる各種情報提供をメンバー向けに行っております。今後はメンバー間の交流会など新たな企画も進めていきたいと思っていますので，この記事を読まれた方でご興味がある方は，ぜひHOKKAIDO WOOD公式ホームページをチェックしていただき，メンバー登録をお願いします。

■出展結果

北海道庁では，Japan ReWOOD 2023の終了後，出展者にアンケートを行いました。その結果について簡単に紹介します。

Q1:イベントへの出展結果は総合的に判断していかがでしたか？

A1：8者中6者が，「非常に良かった」または「良かった」と回答しています。イベントでの感触が良かったことが分かります。

Q2：商談につながりましたか？

A2：8者中7者が「取引相手が見つかった」または「見込み顧客が見つかった」と回答しています。売上や販路拡大という面でもメリットを感じた出展者が多いようでした。

出展者の中で，とりわけ良い結果を得たのは「玩具」「子供向け家具」「アウトドア製品」などファミリー層向けの製品を扱っている出展者でした。このイベントでは，人気芸人が登壇するトークショーや，木に触れる体験イベントを開催するなど，ファミリー層への集客に力を入れており，小さなお子様連れの来場者も多かったため，そういった来場者が求めるものとマッチした出展者がよりメリットを感じたようです。

それとは反対に，高価格帯の製品や木製食器などについては売上が伸びなかったことから，次年度以降もこのイベントが同様の客層をターゲットに行われる場合は，それに対応した集客方法や出展製品に関して留意する必要があると考えています。

■出展してみて

今回のイベントでは，出展サポートという立場で参加し，出展者の皆様と一緒に活動させていただきました。アンケート結果にもあるとおり，手応えを感じられた出展者が多かったのは素直に嬉しいことです。一方，思ったような結果にならなかった出展者もいましたので，課題を整理し次回に向けた準備をしていきたいと思います。

また，出展結果だけではなく，北海道からの出展者同士が，「HOKKAIDO WOOD」やこのイベントをきっかけにしてつながることができたことも大きな成果だと感じています。作る作品や使う材料は違えども，同じ北海道の木材を扱う仲間として横のつながりを持てたことが今後の各者の活躍につながることを願っています。

2024年1月にはモクコレ2024が開催されます。Japan ReWOOD 2023の経験を活かし，北海道から出展する15企業・団体と共にHOKKAIDO WOODをPRし，盛り上げていく考えです。